

実技研修Ⅱ

発達障害のある人へのアセスメント技術を高める

東京都における発達障害(児)者支援は、区市町村ごとに体制整備が進められています。発達障害がある本人や家族が、安心して生活するためには、身近な地域において支援の入り口となる相談機能の強化が求められます。

今年度も発達障害者支援体制整備推進事業の一環として、区市町村における相談支援の現場で中核を担う人材の確保と育成を目的に、実践研修をシリーズで企画・実施致します。

本研修は、受講者の皆様に事前課題を行って頂き、支援事例について所定のフォーマットをもとに事前にまとめた上で、研修に参加して頂きます。研修当日は、講師の近藤先生にアセスメント方法、事例検討の進め方についてご講義頂いた後、事例検討(グループディスカッション)を通して、効果的に事例検討会議を進めるノウハウ、ケースを人に伝える(レポートする)ことについて学び、発達障害のある人へのアセスメント技術を高める機会にして頂ければと考えております。

■主 催:東京都福祉局、社会福祉法人嬉泉

■日 程:令和6年11月7日(木) 10:00~16:00

■場 所:ワйм貸会議室お茶の水 RoomA

(所在地:千代田区神田駿河台 2-1-20 御茶ノ水安田ビル(旧:お茶の水ユニオンビル) 4F)

■対 象:区市町村ならびに発達障害に関わる支援機関において相談支援業務等の中核を担う職員

■定 員:20名(要予約) ■参加費:無料

■講 師:近藤 直司 氏 (大正大学名誉教授)

■プログラム

- 10:00~10:05 開会の挨拶
- 10:05~10:35 講義① フォーマットの使い方
- 10:35~10:55 演習① フォーマットの修正
- 10:55~12:00 演習② 5分レポート
- 12:00~13:00 昼休憩
- 13:00~14:30 講義② ケース検討会議の進め方
- 14:30~15:30 演習③ ケース検討会議
- 15:30~15:45 休憩
- 15:45~16:00 講評・振り返り(質疑応答)

◆◆◆お申込みに際しての留意事項◆◆◆

1. 本研修は、事前課題があります。期限までのご提出をお願いしております。
2. 研修当日、演習①にて事前課題の修正を行い、グループ内で発表(5分間)して頂きます。

※詳細につきましては、受講決定通知とともにご案内致します。

申込方法

メール:kenshu-s@kisenfukushi.com

※定員になり次第、受付を締め切ります。受講の可否についてはメールにてご連絡致します。

■メールに以下の事項をご記載し、お申込み下さい。

- ①受講希望の研修名
- ②名前(ふりがな)
- ③勤務地の区市町村
- ④事業所名
- ⑤職種
- ⑥発達障害にかかわる相談支援等の経験年数
- ⑦連絡(勤務)先:メールアドレスおよび電話番号

〈記載例〉

件名:【嬉泉 太郎】実技研修Ⅱ 受講申込

- ① 実技研修Ⅱ 発達障害がある人へのアセスメント技術を高める
- ② 嬉泉 太郎(きせん たろう)
- ③ 世田谷区
- ④ 社会福祉法人嬉泉 ○○センター
- ⑤ 相談支援専門員
- ⑥ 5年
- ⑦ kenshu-s@kisenfukushi.com